

KPECnews

Vol.63

2018.6.1

Kitakyushu Prosperity Enrichment Council



表紙写真／河内貯水池の堰堤

contents

- 01-02 人気です! 縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバ♪
手作りボランティアグループ「シマウマ組」の誕生!!
- 03 北九州地域産業人材育成フォーラム事業
- 04-05 北九州の企業人による小学校応援団事業
- 06 1000人の夢資金事業
- 07-08 北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業
- 08 KPEC 平成30年度事業計画
- 09-10 KPECの歩み 創立11年から20年までの主な活動
KPECとは 北九州活性化協議会(KPEC)の概要

河内貯水池は北九州市八幡東区の板櫃川上流部にあ
る高さ約44メートルのコンクリートダムによって形成さ
れた人工湖。ダムの中央には趣のある半円柱の取水塔
があります。官営八幡製鉄所の工業用水を確保すること
を目的として1927年に竣工しました。

一帯は北九州国定公園として指定されており、春の
桜、初夏の新緑、晩秋の紅葉と、季節ごとに美しい景色が
楽しめます。また、湖畔から小倉南区鱒淵地区まで「ます
淵サイクリングロード」が整備されており、市内屈指のサ
イクリングスポットとして多くの市民が活用しています。
(本号より北九州市内の近現代建築遺産をシリーズでお
伝えして参ります。)



しましま ときどき **人気です！ 縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバ♪** 1000人の夢寄金

みなさまからご寄付を賜り、市民の教育・文化活動を支援する「1000人の夢寄金」。北九州活性化協議会の新たな取り組みとして2012年にスタートしました。現在は、直接ご寄付を賜るだけでなく、チャリティーイベントなども展開しています。その中で、じわじわと盛り上がってきているぬいぐるみ「縞縞（しましま）のシマウマと時々（ときどき）ヨコシマなカバ」についてご紹介します。

はじまりは「クラフト チクチク」

2016年10月、1000人の夢寄金では「クラフト チクチク de マルシェ」というチャリティーバザーを始めました。これは、手仕事好きな方々からご寄付いただいたクラフト作品を販売し、クラフト作品のご提供とご購入それぞれに寄付を通じた地域貢献につながるという展開です。バザーと同時に手作りワークショップも行い、2日間の開催で200名を超えるご来場を賜りました。2017年には「好きな手仕事で地域貢献」をキーワードに、さらに手仕事にこだわって、第2回目を実施しました。開場前から行列ができる人気で、2日で300名を超えるご来場となりました。

この第1回のバザーの際に、1000人の夢寄金として何か新たな手作りの品を生み出すことはできないだろうかと考え、生まれたのが、小倉織を使って手作りする「縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバ」です。



第1回クラフト チクチク de マルシェの様子



縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバ。一頭一頭手作りで柄はすべて異なり、一つとして同じものがない、世界に一頭だけのシマウマとカバです。

小倉織の小倉 縞縞本店さんのご協力

縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバは、小倉織のハギレを使って手作りしています。ハギレとはいえ、無駄にならないように型紙を置き、布を切るとシマウマにならないハギレがまた生まれます。このハギレが時々生まれるヨコシマなカバになります。このシマウマとカバで使用している小倉織のハギレは、小倉織の品々を開発し、販売されている（有）小倉クリエーション 小倉 縞縞本店さんより、地域貢献の一環としてご寄付いただいています。

小倉織といえば、フランス、ドイツ、イギリスの見本市に出品され、世界最大規模の家具見本市、イタリアのミラノサローネやミラノデザインウィークでも注目される逸品です。「チャームングで可愛らしく、気品もある」といった感想をいただくことが多く、小倉 縞縞本店 渡部英子社長からも「とてもセンスが良く素晴らしい作品ですね」と、お褒めの言葉を頂戴したシマウマとカバ。小倉織を用いているからこそ生まれる、ほかのぬいぐるみにはな

い独特な魅力があるのだと思います。

現在、縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバは、小倉 縞縞本店さんのみで販売しています。



小倉 縞縞本店の外観と店の雰囲気にマッチしているシマウマ達

★小倉 縞縞本店 北九州市小倉北区大手町3-1-107
営業時間：10:00～18:00/定休日：毎週水曜日

*縞縞のシマウマと時々ヨコシマなカバは、一頭3,900円。そのうち3,000円が1000人の夢寄金へのご寄付となります。

手作りボランティアグループ「シマウマ組」の誕生!!

さて、第1回のクラフト チクチク deマルシェで初お目見えした編織のシマウマと時々ヨコシマなカバですが、当初は、1000人の夢寄金事務局長一人で手作りしていました。思いのほか好調で、第1回に出品したものは完売。予約待ちになる人気となりました。マルシェが終わったあとも、「作って欲しい」「どこで購入できるの?」といったお問い合わせが続き、一人では手が追いつかなくなった頃、手仕事好きが集まりボランティアグループ「シマウマ組」が誕生しました。

6名から始まったシマウマ組は、現在20名を超える仲間がいます。カタチを縫うのが得意な人、綿をつめるのが得意な人、たてがみを縫いつけるのが得意な人。作っているうちに、それぞれの得意が生まれてきて、シマウマやカバの個性も豊かになってきました。



毎日にぎやかに行われる
「チクチクパーティー」

シマウマたちの制作日を「チクチクパーティー」と名づけ、定期的に集まっています。ゆっくりですが、チクチク、わいわい、一頭一頭手作りしています。

編織のシマウマと時々ヨコシマなカバの売り上げによる1000人の夢寄金への寄付は、これまでの累計で、190頭、570,000円になりました! 近頃は歓送迎の記念品や北九州のお土産としてもご利用いただいているようです。

古い友人やバザー「クラフトチクチクdeマルシェ」参加の方々、興味を持って訪ねて下さった方をお誘いするなどで、「シマウマ組」は、気がつけば手仕事による地域貢献を快く受けとめてくれる20名を超す仲間となりました。

月に2回の集まりは手と口が動きっぱなしの5時間。当初は編織本店さんへの納品にメンバーのお尻を叩くこともありましたが、今では、信頼のお約束。残った作業は宿題です。このメンバーがバザーも牽引してくれます。偶然生まれたシマウマとカバは遠くを目指して走っているのかもしれない。

いまだき、手仕事やバザーは古い手法かもしれませんが、手から手へ気持ちと「コト」が一緒に伝わってくれば、と願っています。

「シマウマ組」 組長・1000人の夢寄金事務局長
百合野 陸穂

新しい作り手〜生き方のデザイン研究所〜

障害がある人もない人もともに自分らしくイキイキと安心して暮らすことのできる社会を目指し、生き方のデザイナー（障害があることを強みに自分らしい生き方をデザインする人びと）が活躍している一般社団法人 生き方のデザイン研究所。この研究所には、手仕事、裁縫の得意な方がいらっしやると伺い、微力ながら障害のある方の新たな仕事の1つになればという想いもあって、シマウマ組とのコラボレーションをご提案しました。

そして、この4月から、シマウマとカバの新たな作り手仲間

として活動を始めてくださっています。研究所のみなさんの丁寧な仕事ぶりに、シマウマ組メンバーも心強く、うれしく思っています。



生き方のデザイン研究所のみなさん。お仕事が丁寧で早い!!

第3回クラフトチクチク10/26・27開催、決定!!

シマウマたち誕生のきっかけとなったクラフトチクチクdeマルシェ第3回の開催が決まりました! 10月26日(金)27日(土)の両日、小倉北区魚町のまなびとESDステーションにて。ぜひお運びくださいませ。

詳細は期日迫ってまいりましたら1000人の夢寄金公式ホームページにてご案内します。



第1回、第2回のチラシ

1000人の夢寄金

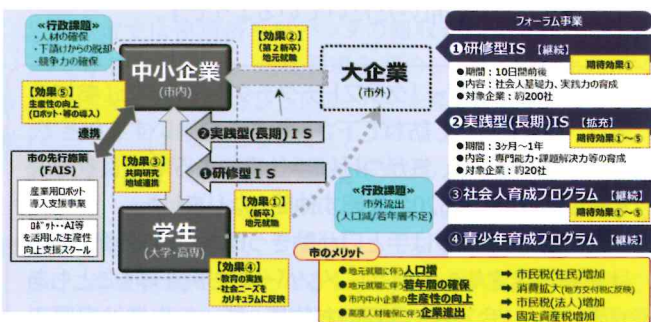
検索

シマウマ組公式facebookページ→<https://www.facebook.com/shimashimanoshimauma/>

北九州地域産業人材育成フォーラム事業

KPEC産学連携研究会の提言に基づき、20年後の北九州地域の産業力・産業基盤の強化を戦略的目標として、H23年5月に創設した「北九州地域産業人材育成フォーラム」は、開設7年を経過し、着実にその政策効果を上げてきました。産学連携・協働による産業人材育成のシステム創りは、経済のグローバル化や人口減少等の地域課題解決の重要な手段のひとつとして、連携大学及び企業のニーズをくみ取りながら多様な展開を図っています。

■フォーラム事業運営の政策的効果が具体的に！



産業人材育成フォーラム事業は、事業開始後7年を経過、目的である地域活性化に向けての効果が、多面的に始まっています。北九州市の19歳～29歳の若者人口は毎年1,000人以上の減少が続いており、また、地域産業の人材力の脆弱化も見逃せない状況になっています。このような環境の中、フォーラム事業は、中堅・中小企業の人材力強化等の地域の政策課題の解決に向けて一層の拡充が期待されており、また、一方で地元工業系大学生を主対象とした「地域連携型インターンシップ」を媒体として、産学連携・協働の教育システムを構築し、インターンシップへ参画することで学生の地元企業の認知が進み、地元就職の促進という効果も生まれてきています。

地域連携型インターンシップ事業の成果 (雇用誘発効果)

フォーラムインターンシップ参加学生の地元中小企業への

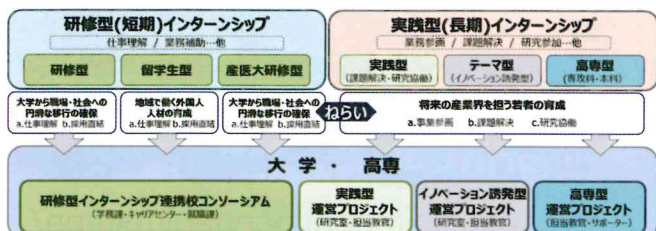
就職者数 → 事業実施5年累計で **70人** **就職率** → 全体の地元就職率の **2倍**

		H25/3卒	H26/3卒	H27/3卒	H28/3卒	H29/3卒	5年累計
連携大学全体での 地元就職状況	インターンシップ参加学生	9人	11人	20人	17人	13人	70人
	地元就職率(A/B)	32.1%	18.0%	25.3%	17.9%	20.3%	21.4%
	就職者数	89人	178人	119人	160人	166人	712人
	就職率	10.6%	15.4%	9.9%	13.6%	14.4%	12.9%
							九工大に比べると約3倍(7.0%が19.3%)

※H25/3卒卒業生対象校は2校 (九州工業大学・福岡工業大学) ※H26～29/3卒卒業生対象校は4校 (九州工業大学・福岡工業大学・北九州市立大学・西日本工業大学・北九州商科大学)

■地域連携型インターンシップが多様な展開に！

フォーラムが実施する「地域連携型インターンシップ」は、大学生の社会人基礎力の向上を目的とした研修型インターンシップを起点として事業化の推進と拡大を進めてきた。近年になり、インターンシップの活用という視点で大学等の更なるニーズの高まりや、地域企業の受け入れ環境が整ったことで「実践型(長期)インターンシップ」への展開も開始しています。さらに留学生を対象としたプログラムや産業医科大生、北九州工業高等専門学校生を対象としたテーマ型インターンシップへの展開などにより産学協働によるCo-op教育への展開が拡大しています。



■北九大ビジネススクール(K2BS)が地域へ！

北九州市立大学ビジネススクールの修了生は平成30年3月で261人に。このMBAホルダーとK2BS教員とで「技術系人材育成のための実践経営学講座」のカリキュラムを作成し、地元工業系大学の大学院の経営学コースを創設しました。また、K2BS教員が、新事業創造等の研究テーマに拠る地域企業のケーススタディ事例を活用して、地域の経営・管理者を対象にした車座塾を実施しました。



■北九州理工系イベント紹介サイト“かがたま”が稼働！

北九州地域の科学・工学に関係する教育機関や関連施設の事業・イベントの開催情報をウェブサイトで一元的に集約した理工系イベント紹介サイト「北九州かがたの玉手箱“かがたま”」をリリース。デザインは、西日本工業大学の情報デザイン学科3年生11名が主体となって制作しました。“かがたま”は、市民や小中学校等へ広く情報提供を行い、イベントへの参加促進を図ることで、次世代のイノベーターを育成するものづくり教育に繋げていきます。



■昨年に引き続き“ものづくりベストワン企業合同説明会”

フォーラム事業を協働する地元ものづくり企業が参加する「北九州人づくりものづくり企業合同説明会」を5月8日に開催(参加企業数37社)。当事業は、フォーラムの地元雇用機会創出プロジェクトで、フォーラム連携校(6校)と地方創生戦略である「北九州・下関まなびとびあ(13校)」、北九州市と共催で実施しました。今後も、北九州地域のものづくり中堅・中小企業の人材開拓の場とする新たな地域活性化事業として拡充予定です。

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

開催日 平成30年5月8日(火) 13:00～17:00

会場 西日本総合展示場B棟3F

対象者 2019年卒業予定者

約50社集合

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州人づくりものづくりベストワン企業合同説明会

北九州の企業人による小学校応援団事業 (平成29年度 実施テーマなどの状況)

区分	ジャンル	テーマ	企業・団体名	件数
出 前 授 業 (小学校応援団受付)	環境	けんこうなくらしと水のかかわり	TOTO(株)	1
		人々の健康や地球環境を考える小学生石けん教室	シャボン玉石けん(株)	3
		ごみのリサイクル	光進工業(株)	1
		ごみをしげんにかえるしくみ(4年社会科「ごみはどこへ」と連動)	新日鉄住金エンジニアリング(株)	2
		環境(地球温暖化、資源の可採年数など)	西部ガス(株)	1
		燃料電池教室	西部ガス(株)	3
		水辺の多様な命と自然の恵みを守ろう	三井住友海上火災保険(株)	1
		生ごみのリサイクル～環境にやさしいしくみ～	楽しい(株) アサヒカルピスウェルネス(株)	1
	道徳	ルール、挨拶、マナー、言葉づかい	(株)ケイ・ビー・エス	10
		大型紙芝居による情操教育「はくぞう座」の出前公演	(株)SP-Link	6
		高齢者の疑似体験を通じて高齢者や高齢社会について考える	公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会	11
		「いのちの大切さ」	公益社団法人 誕生学協会	9
		「解釈のちから」で学ぶ法教育	福岡県司法書士会 北九州支部	4
	道徳・コミュニケーション	笑顔が生まれるコミュニケーション	(株)ニッター	4
	社会	地域に貢献するタクシー業	明交運輸協同組合	1
		社会のお金の流れと銀行の役割「銀行ってなんだろう」	(株)福岡銀行	1
		住み良いまちづくり「歩いて、見つけて、地図にしよう」	(株)ゼンリン	4
		食の安全・安心「食品を安心して食べてもらうための企業努力」	(株)かば田食品	1
		お葬式のマナー(冠婚葬祭のマナー)	(株)サンレー	1
		薬物乱用防止、くすりの正しい使い方	公益社団法人 北九州市薬剤師会	1
	社会・職業	レゴブロックを使った設計体験	新日鉄住金エンジニアリング(株) NSプラント設計(株)	13
		自分をいかせる職業分野を知ろう	(株)夢をかなえる研究所	4
		パティシエの仕事	(有)こうのとりの	8
		保育士の仕事	北九州市保育士会	11
		自衛隊について(災害派遣)	自衛隊	4
	食育	カレーは食の宝石箱だ	新九協同(株)(瑠璃ズキッチン)	2
		食中毒の予防について	(株)イーパック貿易	1
		「子供の運動能力と健康 ～皆で楽しくフィットネス体操～」	(株)イーパック貿易	2
	生活・健康	科学する心の啓発(郷土が生んだ偉人・藤田博士の業績を学ぶ)	藤田記念会	5
		磁石教室(磁石を利用したひびのを見つけ方)	計測検査(株)	1
	理科	走り方教室	実業団陸上部(黒崎播磨(株)、(株)安川電機)及びOB会(北実会)	58
	国語	話し方・朗読について	元 NHK アナウンサー	10
	職業	〈職業インタビュー〉 エンジニア(新日鉄住金エンジニアリング(株))、音楽家(公益財団法人北九州市芸術文化振興財団)、サッカー選手((株)ギラヴァンツ北九州)、獣医(北九州市どうぶつ公園協会)、タクシー運転手((有)戸根タクシー)、保育士(北九州市保育士会) 〈キャリア教育〉 アナウンサー(元NHKアナウンサー)(2)、エンジニア(新日鉄住金エンジニアリング(株))(2)、保育士(北九州市保育士会)		11
見学 (小学校 応援団 受付分)	社会	デパート探検	(株)井筒屋	1
		TOTO ミュージアム見学	TOTO (株)	1
教 職 員 研 修 (小学校応援団受付分)		お客様対応「クレームとCS(顧客満足) 対応」	TOTO (株)	3
		接遇、ビジネスマナー、電話応対、クレーム対応	(株)ケイ・ビー・エス	6
		リスクマネジメント研修(災害時の教師、親としての対応)	トップ保険サービス(株)	2
保護者(PTA)研修 (小学校応援団受付分)		子どもが伸びるコーチング(楽しいコミュニケーション術)	(有)コ・リード	2
		「いのちの大切さ」	公益社団法人 誕生学協会	1
企業直接申込み (窓口紹介)(児童向け)		「交通安全教室」	西鉄バス北九州(株)	7
		「太刀浦コンテナターミナル見学」	関門コンテナターミナル(株)	3

■出前授業を実施した小学校からの感想

■社会 デパート探検

(株)井筒屋

・ ゆっくりと大きな声で説明していただき、大変わかりやすかった。

<児童の感想>

・ 保安室のみなさんが24時間、井筒屋のみんなの安全を守ってくれるので、みんなが楽しく買い物ができるといことが分かった。
・ また行きたい。



■体育 走り方教室

実業団陸上部(黒崎播磨(株)、(株)安川電機)、北実会

・ 何も指導せずにスタートさせた時と、指導後にスタートさせた時の違いを体感させることができたことはよかった。

・ 腕の振り方などはおさなりになりがちであるが、大切な動きであることが理解できたようであった。特に、きつくなったら腕を振ることを意識するという点は、運動が苦手な児童にとって心強い言葉であったと思われる。

<児童の感想>

・ 4月に計った50m走のタイムより、1秒以上速くなっていたのでうれしかった。スタートでは、重心を前にして飛び出すようにするということがわかった。



■社会 TOTOミュージアム見学

TOTO(株)

・ 児童の小さなつぶやきや質問にも丁寧に応えていただき感謝しています。

<児童の感想>

・ 昔のトイレを見ることができてうれしかった。
・ 赤ちゃんやお相撲さんのトイレがあるなんてすごいと思った。また行きたい。



■職業 職業インタビュー

エンジニア、音楽家、サッカー選手、獣医、タクシー運転手、保育士

・ 職業インタビューありがとうございました。私の夢はちがうけど講師の方のように努力して夢をかなえたいです。

・ 質問に答えてくれてありがとうございました。ぼくはけんちくかを目指しているからうれしかったです。

・ 東京スカイツリーやいろいろな有名なものの一部の設計をしていると聞いておどろきました。



「もったいない総研」事業

「もったいない総研」は、北九州市の様々な「価値あるモノ」をシビックプライドのコンテンツとして、その継承と活用を推進していきます。その一つとして、環境首都を目指す北九州市のエコマインドの普及・啓蒙のツールとしての北九州紙「えこっパー」のブランディングの向上に取り組んでいます。「えこっパー」は、大分製紙(株)様の北九州への工場進出のきっかけにもなりました。

■北九州紙「えこっパー」販売数300万バック突破!!

平成13年から販売を開始した「えこっパー」が平成29年6月に300万バック(1800万ロール)を突破しました。

ざっと2000万本の牛乳パック用紙と7200トン分の古紙がリサイクルされたことになります。

北九州発リサイクルトイレットペーパー

北九州紙「えこっパー」

300万バック突破!!



■北九州紙「えこっパー」販売によるご寄付

昨年に引き続き、「えこっパー」を製造・販売している大分製紙株式会社様より当協議会が運営する「1000人の夢資金」へ20万円のご寄付をいただきました。市民のみなさまの文化・教育活動への助成として活用させていただきます。



■地元企業でのご利用キャンペーン活動推進

北九州紙「えこっパー」をもっと、もっと知っていただこうと、(株)安川電機様、TOTO(株)様や地元銀行の北九州市内の事業所等で「えこっパー」設置のキャンペーンに取り組んでいます。

1000人の夢寄金事業

平成24年9月に北九州市の都市格(教育力・文化力)向上を目的として、スタートしました1000人の夢寄金事業も6年目を迎えました。寄付金募集事業は、1口3,000円を基本とする一般募金部会と具体的な目標を持ったプロジェクト募金部会の2部会を設定。平成29年度からは、一口1万円の法人寄付会員を設け、既存会員ならびに新規会員の獲得を推進中です。一方、チャリティーバザー「クラフト・チクチク」につきましても、昨年に続き第2回目を北九州まなびとESDステーションで開催し、300名を超えるお客様にご来場いただきました。活動資金助成事業につきましても、厳正な審査の上、9事業に総額1,500千円の助成を決定しました。

■寄付金募集事業

1. 寄付金募集状況

昨年は平成29年4月から平成30年3月までの期間で148件、合計2,041千円のご寄付をいただきました。平成24年10月夢寄金開始からの6年間の寄付累計は件数580件、累計金額は10,499千円に達しました。1口3,000円の基本寄付を中心に募金活動を行い、また、寄付金募集方法の多様化を図るため、銀行口座引落しによる寄付金募集を平成28年10月より開始し、平成29年10月に第2回目の引落しを実施しました。口座引落実績は、41口座、金額245千円となりました。

2. 寄付金募集イベント

◇第4回1000人の夢寄金・チャリティーゴルフを開催しました。

開催日:平成29年11月1日(水)

場 所:若松ゴルフ倶楽部

平日にもかかわらず趣旨に賛同いただいた81名の方々にご参加いただき、秋空の好天の中、プレーを楽しまれました。243千円のご寄付が集まりました。



◇第2回クラフト・チクチク<チャリティーバザー>を開催しました。

開催日:平成29年10月27日(金)~28日(土)

場 所:北九州まなびとESDステーション

手作りの作品を提供していただき、またワークショップ8店舗、現地販売店7店舗が参加し、2日間で延べ300人以上の来場者があり、大盛況となりました。総売上高、269千円の全額を夢寄金へご寄付いただきました。平成30年度も第3回の開催が決定しています。また、第1回バザーから誕生した地元小倉織の端切れ生地を使った縫いぐるみである「編織のシマウマ」「時々ヨコシマなカバ」は、バザー終了後も人気を博したため、十数名の地元女性ボランティアの皆さんが中心となり「シマウマ組」を結成しました。平成29年4月から平成30年3月末までの平成29年度販売実績は133頭。寄付金額は399千円に達し、夢寄金寄付事業のひとつの大きな柱に成長しており、現在も好評販売中です。(1P~2P:特集記事をご参照下さい。)



■活動資金助成事業

1. 第6回助成団体の事業概要 (平成29年9月26日審査委員会にて決定)

・対象活動期間 平成29年10月1日から平成30年9月30日 ・応募総数 10件 ・助成先 9件 (助成金額合計 1,500千円)
(第6回助成先)

助 成 先	事 業 名	事 業 概 要
MOA美術館北九州児童作品展 実行委員会委員長 半田 譲二	MOA美術館北九州児童作品展	日頃、子どもたちが取り組んでいる創作活動を奨励することで「生命を尊ぶ心」「心ゆたかな人間」形成を目的としている教育・文化事業。
生き方のデザイン研究所 代表理事 岡 昌子	子どもたちが主体的に生きる力を育む「生き方のデザイン授業」	北九州市内の小学校にて4年生から6年生を対象に実施する教育事業。福祉をテーマにした子どもたちの自尊心や自立心などを育む授業を展開。
到津の森からの会 幹事長 小田 剛	到津の森開園15周年記念 黒田征太郎氏絵本作成	到津の森公園開園15周年を記念し、黒田征太郎氏による同公園をイメージした絵本を4,000部制作する文化事業。絵本は、平成29年7月九州北部豪雨で被害にあった朝倉市の子どもたち等へ贈呈。
平松町アーカイブ 荻野 衣美子	映像を用いた記録・上映鑑賞ワークショップ、映画制作を行う事業	映像を使った小倉・平松地区の埋もれつつある歴史・文化の掘り起しとアーカイブによる保存・継承を住民と共に進め、実践していく文化事業。
NPO法人 好きっちゃ北九州 入門 真生	好きっちゃ北九州! ぼくのまち、わたしのまちを紹介!します!	自分の住む地域に関する学びを通して、子どもたちの中に郷土愛や大人とのコミュニケーション力を育む教育事業。八幡東区平野と小倉南区東朽網で展開。
カンボジア教育支援プロジェクト アナコッ 西南女学院 徳丸 佳純	日本・カンボジア文化交流	カンボジアの高校に教育図書を贈ったり、高校教諭と学生2名を北九州に招待し、カンボジアの現状についての講演会および北九州市民との文化交流を行う文化・教育事業。
いのちの授業 大江田 由美	いのちの授業 若松高須中学校 赤ちゃんゲスト&妊婦体験	赤ちゃん先生授業~赤ちゃんとお母さんを招待し、中学生に対するいのちの大切さ、友人や家族への思いやりの気持ちを育む授業。
NPO法人 子ども未来 理事長 神原 みゆき	児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業	遊びを通じた運動能力やコミュニケーション能力の向上、子ども達の自由な発想を促すため、発達障害児童用の運動玩具や大型ブロック等を購入支援する教育事業。
島ミュージカルプロジェクト実行委員会 北九州実行委員長 今村 貴子	北九州市・周防大島 島ミュージカルプロジェクト	北九州市を中心に活動するダンサー、シンガー、パフォーマー等と周防大島の住民とが協力し、オリジナルミュージカルを製作、発表する文化事業。北九州の若者と過疎集落との交流推進のモデルづくりなどに挑む。

北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

北九州イノベーションギャラリーでは、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、そこに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、企画展の開催や市民セミナー・見学ツアー等様々なイベントを意欲的に実施しました。

■平成29年度の主な実績

利用者数	66,316名(目標達成率 97.5%)
企画展観覧者数	20,022名(目標達成率 100.1%)
教育プログラム参加者数	18,852名(目標達成率 139.6%)

■企画展示に関する事業

様々な視点でイノベーションを紹介する企画展を4回開催しました。 ※春企画展、秋企画展は10周年記念の冠を付加

春企画展	木・和・美の技 木創りの道具たち 展
夏企画展	Dr.伊藤文人の トリックイリュージョン研究所
秋企画展	香りのふしぎ展
冬企画展	地域ものづくりリレー展 ①未来を見つめる高校生の作品展 ②未来へ拡がる企業技術展 ③デザイン×表現の進化展

春企画展



夏企画展



秋企画展



冬企画展



■教育普及に関する事業

1. イノベーションフォーラムの開催

次世代のイノベーションを担う人材育成や、若手技術者等新たな顧客層の開拓を目的として、時代の流れに即したテーマでイノベーションフォーラム、及び地域ものづくり未来フォーラムを開催しました。

①イノベーションフォーラム

テーマ：「TOTOの歩みとイノベーション」

講師：清原 正勝 氏

TOTO株式会社 総合研究所副所長、フェロー

②地域ものづくり未来フォーラム

テーマ：「持続可能なFAB施設のあり方 など」

参加者：北九州近郊のFAB施設運営者、及び管理者



2. 技術革新セミナーの開催

市民の関心が高い「最先端医療」をテーマに技術革新セミナーを2回開催しました。

①再生医療のインパクト～iPS細胞の現状と未来

長船 健二／京都大学 iPS細胞研究所

②「いのち」をやどす～不妊克服への挑戦

田中 温／セントマザー産婦人科医院 院長

3. デザインセミナー&フェアの開催

デザインを表現として多角的に感じる機会を提供しました。

①「北九州技の達人」に見る！デザインのちから

第1部 服飾仕立・修理 ～ 作品披露 (岩見 照美)

第2部 理容 ～ ヘアカットの実演 (坂元 久文)

②建物色ぬり体験ワークショップ(ピー・アンド・エル)

他に、木創りARTオブジェ(門司港美術工芸研究所)の長期展示を行いました。



4. デジタル工房関連

ものづくりの新たな取り組みであるKIGSデジタル工房機能を活用した各種ものづくりプログラムを積極的に推進しました。当工房は市民に開かれた工房として個人利用の促進を目的に会員制度を導入、積極的な利用を働きかけることで、新たな施設利用者開拓にも貢献しています。



5. その他

①市民セミナー

1)「鉄の進化を支えた炉材革命」映像上映会&関連講話

2)「西郷隆盛と産業革命」いのちのたび博物館にて開催

3)「くじらは海のは乳類」いのちのたび博物館にて開催

②各種連携事業等

東田たたらプロジェクト、技術士会との共催事業、東田3館連携によるサマースクールや世界一行きたい科学広場の開催、ワークショップの出前を実施しました。



■調査研究に関する事業

産業技術の保存と次世代への継承を目的として、国立科学博物館、技術士会などと連携し、自主調査研究を行うとともに共同研究や委託研究を行い、また、平成28年度に実施した調査研究の報告会を開催しました。

1. 調査研究

①「北九州におけるレベル計測技術の歴史と発展」

(株)マツシマ メジャテックに委託し、報告書を作成。

②「北九州における鍛造技術の歴史と発展」

北九州地区技術士の宮田氏他に委託し、報告書を作成。

- ③「嗅覚センサーと匂い応用研究の歴史と発展」
九州大学他匂い研究の専門家に委託し、報告書を作成。
- ④「モーターコア打抜き金型の系統化調査」
国立科学博物館と共同研究し、報告書を作成。

2. 調査研究報告会

- ①「北九州における耐火物技術の歴史と発展」
報告者：佐藤信博／黒崎播磨(株)
- ②「時計技術の系統化調査」
報告者：青木茂／国立科学博物館主任調査員
- ③「天然及び合成ゴムの技術的歴史と発展」
報告者：西村伸／九州大学



■映像・図書収集及び公開に関する事業

イノベーション・産業技術・デザインに関する図書および企画展と連動する図書の他、北九州企業の社史を積極的に収集すると共に、イノベーションに関する映像を制作しました。

- ①図書の購入数 1,028冊（書籍673冊、雑誌355冊）
- ②映像の制作

北九州オンリーワン認定企業4社を取上げ、各社のオンリーワン製品の独創性、開発秘話にスポットを当てた技術革新物語として「輝くキタキユウのプロダクト1 (30分)」を制作しました。



平成30年度事業計画

KPEC 平成30年度事業計画

■公益目的事業 1

北九州市地域の活性化に関する調査・研究を行うとともに、行政及び関係団体と活性化施策の総合的な調整を行うことによって、北九州地域の発展に寄与することを目的とした事業。

1. “もったいない”を未来に引き継ぐ事業 (もったいない総研事業)

KPECの創立10周年事業として創設した「もったいない総研」の運営理念を踏まえた地域活性化事業の企画、開発及び事業化を行う。

- 1) 「北九州紙えこっパー」の普及に関する企画・研究の実施
- 2) “もったいない”の概念を踏まえたシビックプライドの醸成事業

2. 産業人材を育成する事業 (北九州地域産業人材育成フォーラム事業)

地元理工系大学・高専と中堅・中小企業との協働による産業人材の育成と、企業の経営力強化と雇用環境の改善を図るため、「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、青少年から社会人に至る産業人材育成の地域システム創りとその持続的発展の仕組み創りを進める。

- 1) 高度人材育成プログラムの企画、運営
- 2) 社会人育成プログラムの企画、運営
- 3) 青少年育成プログラム事業の企画、運営
- 4) 産業人材育成を目的とした地域クラスター形成の環境整備

3. 次世代を担う人材を育成する事業 (北九州の企業人による小学校応援団事業)

北九州市内の企業や経済団体が結束して、将来を担う子どもたちの健全育成を目指し、北九州市内の全公立小学校131校の児童、教員および保護者を対象に、学習支援（出前授業、見学受け入れ）、研修支援（講師派遣、体験研修受け入れ）、PTA活動支援などの教育支援に取り組む。

- 1) 支援事業の充実
企業等の協力を得て、児童を対象とした出前授業、教員や保護者（PTA）向けの研修を継続実施すると共にテーマの更なる拡充を図っていく。
- 2) 支援体制の充実
参加企業の拡大を図るとともに、利用者の利便性の向上やサポート体制の向上を図り、円滑な事業の推進を図る。

4. 都市格（文化力・教育力）を向上する事業 (1000人の夢寄金事業)

教育と文化を、都市格（都市の品格）を高める重要な基本要素と考え、真に魅力あるまちづくりを進めていくために、教育や文化的活動を行う法人・個人・団体に対して活動費用を助成

する「1000人の夢寄金」（以下、夢寄金）事業を推進する。

- 1) 「1000人の夢寄金」募金事業
- 2) 「1000人の夢寄金」助成事業
- 3) 広報・プロモーション事業の実施

5. まちづくり推進事業

北九州地域の活性化に資する各種事業の企画、開発及び運営に必要な研究・調査と事業の運営基盤となる産学官民の連携軸の構築等のまちづくり推進事業を実施する。

- 1) まちの活性化推進事業（調査・研究）
- 2) まちの活性化に関する情報発信事業

■公益目的事業 2

北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

北九州地域の「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、新たなイノベーションへとつながる（1）人材活用・育成、（2）産業技術の保存継承（技術の知と心の継承）、（3）技術革新（イノベーション）の機会の創出を行い、人・知を結集し、北九州の発展に必要な新産業を生み出すとともに、北九州イノベーションギャラリーを媒体とした技術教育を通じ、世界に貢献できる人材の育成を目的とした北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業。

「北九州地域産業人材育成フォーラム事業」等との連携を図りながら、新たにものづくり教育・技能教育分野の拡充等の環境づくりを進める。

- 1) 教育普及に関する事業の企画、運営
- 2) 調査研究に関する事業の企画、運営
- 3) 企画展示に関する事業の企画、運営
- 4) 映像・図書等収集及び公開に関する業務の企画、運営

■法人運営事業

「公益法人法」を遵守することにより、法人運営を適切に維持・管理し、かつ、当協議会の公益目的事業を円滑に遂行するために必要な組織運営体制および財務基盤の強化を図る。

1. 組織運営体制の強化

KPEC創設趣旨と地域における組織的位置づけの再確認を行い、事業拡大に対応した業務執行体制を構築すると共に、中長期的な視点を踏まえた運営体制の整備を行う。

2. KPECの経営基盤の強化

事業運営フレームの改廃、改善及びコスト削減を図ると共に、新しい収入財源の開拓、研究等を進め、中長期的な視点で、経営体質の改善、強化を進める。

3. 会議等の実施

定款等に基づき、所定の会議を開催する。

KPECの歩み 創立11年から20年までの主な活動(平成12年～平成21年)

■「もったいない総研」活動開始!

「もったいない総研」は、KPEC創立10周年記念事業として平成11年に設立。全国に先立ち、北九州を「世界の環境首都」に育てていくための拠点となることを目指しました。

1. 北九州紙「えこっパー」の企画・開発

北九州市では使用済み紙パックの回収が開始され、この紙パックを原料資源とした、地域循環実践のシンボリックな北九州ブランドのリサイクル型トイレットペーパーを企画・開発し、北九州紙「えこっパー」が誕生しました。

平成27年には、北九州市の環境マスコットキャラクターである「ていたん」を印刷したえこっパーを発売し、えこっパーの更なる普及に取り組んでいます。

また、地域循環モデルとなる「えこっパー事業」への参画がきっかけとなり、製造元である大分製紙(株)は国、県、市の補助事業の認定を受け、北九州市への工場進出を行いました。(九州製紙(株)北九州工場)



2. 「シニアネット北九州」設立

平成12年、シニアの社会参加の機会を創り出すことによって、会員の活き活きとして充実した生活を支援することを目的に「シニアネット北九州」が誕生しました。

北九州の恵まれた自然(資源)とシニア世代を中心にした経験豊かな人材(財)を活かして、「もったいない」をキーワードにした市民活動を展開しています。

3. 「もったいないスクール2005」開催

平成17年、次世代を担う子どもたちに環境意識を育てることを目的に、「自然を愛しむところと行動」を体感し、学んで欲しいという願いを込め、「もったいないスクール2005」を開催しました。



■「長崎街道プロジェクト」がスタート

長崎街道の起点である北九州・小倉。この歴史的財産、長崎街道の再整備と街道を通したまちづくり・人づくり・健康づくりを図ろうと「長崎街道プロジェクト」がスタートしました。(平成16年)

北九州青年会議所と共催で、「長崎街道ウォーキング・歴史を歩こう」を開催し、市民のみならずと共に、長崎街道を見つめ直す好機となりました。



■北九州イノベーションギャラリーの設立・運営

北九州に培われてきた、ものづくり技術。KPECは、この、わがまちの財産を後世に引継ぎ、さらに新たなイノベーションを生み出すことが北九州の活性化のために重要だと考え、平成2年より「産業科学博物館」の調査・研究・構想策定などの取り組みを展開してきました。

平成15年に「(仮称)北九州産業技術博物館 基本計画報告書」を作成し、北九州市に対して、「産業技術保存継承センター」建設整備資金として合計2億円を寄付しました。

そして、平成19年4月、八幡東田に北九州イノベーションギャラリー(通称KIGS)がオープンし、今日まで同施設の指定管理者を受託し、その運営を行っています。



■「僕らのハローワーク」展開

会社のイメージだけで就職先を決める傾向があると言われる現在の学生。文系の学生は製造業といえば、工場だけをイメージする…

平成18年、このような現状を背景に、地場企業情報をきちんと学生に伝え、地場企業への就職に対する関心を高めることと学生のキャリア教育を目的に学生による企業の訪問及びインタビューを行い、会社紹介の冊子「ボクラノ」を作成しました。



KPECとは 北九州活性化協議会 (KPEC) の概要

■理念

公益財団法人北九州活性化協議会（通称KPEC）は、市民の声、若い世代の力、大学、企業、経済団体の英知と活動力を一つにまとめ、連携軸としての役割を担い、行政及び関係団体と共同で、北九州市の確かな未来づくりに向かって行動する団体です。

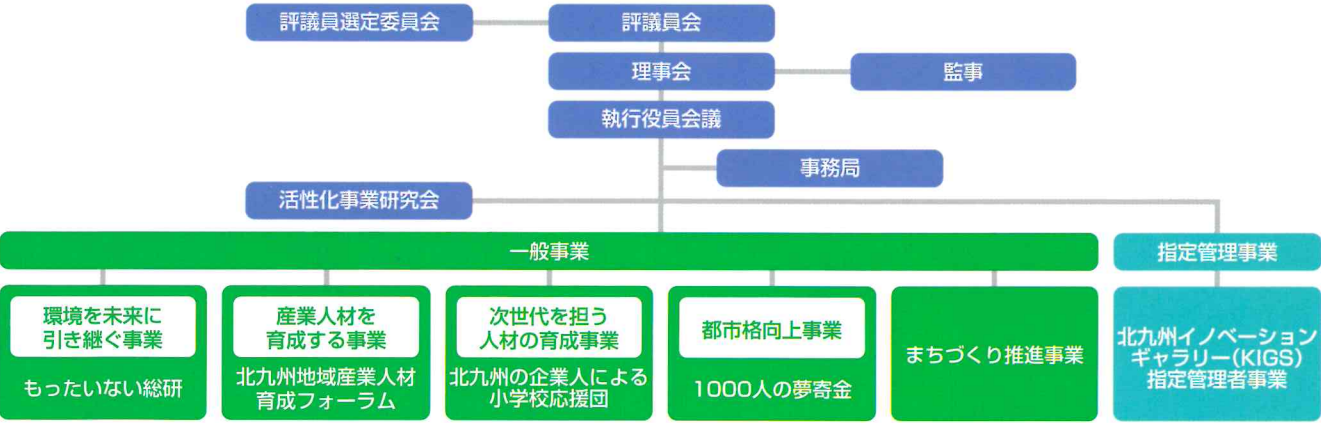
■設立の経緯

KPECは、昭和60年代初め、鉄冷え不況などにより沈滞化した北九州市を活性化しようと、米ピッツバーグ市の先例に学び、北九州経済4団体（北九州商工会議所、西日本工業倶楽部、北九州青年会議所、北九州青年経営者会議）を母体に998名による企業・団体や市民の賛同と協力のもと設立された公益法人です。

KPECの役割と機能



KPECの組織体系図



■役員名簿

(平成30年7月1日現在)

評議員

(敬称略・50音順)

氏名	企業(団体)名称	企業(団体)役職名
会長 尾家 祐二	国立大学法人 九州工業大学	学長
赤坂 英典	(株)井筒屋	取締役専務執行役員
堺 俊治	(一社)北九州中小企業経営者協会	会長
高宮 俊諦	福岡経済同友会北九州地域委員会	委員長
田口 智之	TOTO(株)	取締役常務執行役員
野村 廣美	福岡ひびき信用金庫	理事長
羽田野 隆士	北九州商工会議所	専務理事
久富 雅史	(一社)西日本工業倶楽部	常任理事・事務局長
廣渡 健	九州電力(株)北九州支社	執行役員北九州支社長
松尾 太加志	公立大学法人 北九州市立大学	学長
三好 忠満	新日鐵住金(株)	八幡製鐵所総務部長
山口 幸之助	西部ガス(株)	常務執行役員 北九州地区支配人
吉 戒 孝	(一社)北九州銀行協会	会長(福銀・副頭取)

理事

(敬称略・50音順)

氏名	企業(団体)名称	企業(団体)役職名
会長 宇佐見 昇	(株)安川電機	顧問
理事長 小嶋 一碩	(株)千草	代表取締役会長
副理事長 城水 悦子	(株)洋建築計画事務所	代表取締役
副理事長 中野 文治	(株)ぶんコーポレーション	代表取締役社長
専務理事 山崎 脛	(公財)北九州活性化協議会	専務理事
池浦 博文	北九州ファッション協会	会長
井上 龍子	八幡駅前開発(株)	代表取締役社長
今川 英子	北九州市立文学館	館長
大貝 敏之	(一社)北九州青年会議所	理事長
芹川 聖一	国立大学法人 九州工業大学	工学研究院長
丹生谷 雅俊	(一社)北九州青年経営者会議	会長

監事

(敬称略・50音順)

氏名	企業(団体)名称	企業(団体)役職名
加藤 敏雄	(株)北九州銀行	特別顧問
吉野 浩実	(株)西日本シティ銀行	常務執行役員北九州総本部長

目からウロコの「パッケージ技術」がいっぱい

遊ぶ・学ぶ・作る

くらしを包む

55th Anniversary
北九州市

他では体験できない
インスタグラム
撮影をどうぞ!

段ボールで作る6mの
動くコンボウノトリ

2018年 3月24日(土) - 7月1日(日)

北九州イノベーションギャラリー 企画展示ギャラリー 北九州市八幡東区東田2-2-11

9:00 ~ 19:00 土・日・祝日は17:00まで 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
※企画展示室への入場は開館時間の30分前まで 観覧料 大人:300円/小中学生:100円
※団体30名以上は2割引/障害者割引有り/年長者施設利用証は2割引/毎月第2日曜日は中学生以下無料



大切な荷物を運ぶダンボールで6mの動く鳥のモビール「コンボウノトリ」をつくりました!ロープを引くと羽ばたきます。
段ボール・カット提供:大石産業株式会社
トランスエース提供:平川産業株式会社
装飾:人形アーティスト・クサボン



2mの
ダンブラ
ザウルス

2mの恐竜ダンブラザウルスが親子で広場に8頭出現します!
段ボールプラスチック・カット提供:株式会社日栄紙工社

段ボールモデルルーム

重そうに見える家具や電化製品を軽々持ち上げてみましょう!
リポードディスプレイ提供:グランド印刷株式会社

3Dトリックアート
びっくり箱から
こんにちは!



体験イベント

楽しみながら、パッケージについて触れてみよう。
内容や参加方法など詳しくは HP(www.kigs.jp) で検索

ものづくりミニ体験 各回30分程度

会期中
土・日・祝日

●11:00 ~ ●13:00 ~
●15:00 ~

各回先着 6名



サイズ:4号缶φ74×113mm

「タイムカプセル缶」

手紙や写真など思い出の品を缶詰に閉じ込めるタイムカプセル缶づくりです。

小学生(要保護者同伴)※3/24~4/5は毎日開催(3/25中止、月曜休館)

参加費:100円 ※イベントは予告なく変更される場合がございます。

体験コーナー

ご自由に体感いただけます

参加費:無料

「フォークリフトゲーム」

梱包したものを、素早くきれいに棚に入れましょう!



「箱の開閉体験」

スイッチ操作により平たい板が立体的なボックスに、また平たい板に変化します!

「飛行機の翼・脚 収納体験」

飛行機の翼の折りたたみ、主脚・尾輪脚の収納を、各スイッチで体験できます!

「ラッピング体験」

ギフトのラッピング講座です。毎週土・日曜日・祝日

●10時
●14時



【主催】北九州市、北九州イノベーションギャラリー

【後援】北九州市教育委員会、北九州市PTA協議会、北九州商工会議所、JR九州、西鉄バス北九州株

【協力】大石産業株式会社、TOTO 株式会社、株式会社日栄紙工社、ヤマト包装技術研究所、容器文化ミュージアム、株式会社舟崎薬品、昭和ロマン蔵、平川産業株式会社、株式会社 廣貴堂、グランド印刷株式会社・ARMS、新日本ホームズ株式会社・falò 大塚、媛福丸、株式会社井筒屋、宮井株式会社、公益社団法人日本包装技術協会、クサボン <順不同>



http://www.kigs.jp/

北九州イノベーションギャラリー 検索

tel:093-663-5411

